

## 第3章

# プランの基本的な考え方と目標

## 1 プランの基本理念

本市では、2014（平成26）年に「みんなが輝くまち関市男女共同参画推進条例」を制定し、この条例の考えのもと、男女共同参画の取組を推進してきました。本プランにおいても、条例の基本理念を踏まえ、現状や課題に応じた取組を推進します。

### 「みんなが輝くまち関市男女共同参画推進条例」の基本理念

#### ① 男女の人権の尊重

男女が、あらゆる場において個人としての人権が尊重され、直接的又は間接的に性別による差別的な扱いを受けることなく能力を発揮する機会が確保されること。

#### ② 役割分担意識及び制度又は慣行への配慮

男女が、性別による固定的な役割分担意識とそれに基づく制度又は慣行により社会のあらゆる活動が制限されることなく自由な生き方が選択できるよう配慮されること。

#### ③ 意思決定過程への参画機会の確保

男女が、家庭、地域、職場、学校その他の社会のあらゆる分野の立案から決定までの場に対等な立場で参画する機会が確保されること。

#### ④ 家庭生活及び地域、職場、学校活動等の両立

男女が、互いの協力及び社会の支援のもとに子育て、介護その他の家庭生活における活動を円滑に行い、かつ、地域、職場、学校その他の社会における活動を両立できるようにすること。

## 2 プランの将来像

基本理念の考えに基づき、男女共同参画の施策を着実に推進し、以下のような将来像を達成することをめざします。

将来像

**誰もが自分らしく 心豊かに暮らせるまち せき**

## 3 重要視点

### 重要視点 1 男女共同参画社会に向けた意識をつくるために

男女共同参画社会の実現に向けては、固定的な性別役割分担意識にとらわれず、個性や能力が発揮される社会であることが大切です。さまざまな啓発活動や教育活動等を通じて、男女共同参画についての意識づくりを図ります。また、LGBT等の性的マイノリティを含め、多様な性の在り方についての市民の理解を促進します。

### 重要視点 2 あらゆる分野において誰もが活躍するために

あらゆる分野で多様な視点が入り入れられるよう、政策・方針決定の場で男女共同参画を促進するとともに、就労を希望する女性を支援する職場環境の整備や、子育て・介護支援の充実を図ります。また、男女双方のワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。

### 重要視点 3 誰もが地域で安心して暮らすために

性別を問わず地域活動への参画を促進します。また、災害に強いまちづくりを進めるために、男女共同参画の視点に立ちながら、多様なニーズに対応できる防災体制の確立を図ります。さらに、DV等の暴力の防止や相談体制の整備を図り、誰もが安心して暮らせる地域づくりを行います。

## 4 政策体系図

## 重要視点

- 1 男女共同参画社会に向けた意識をつくるために

- 2 あらゆる分野において誰もが活躍するために  
 (「関市女性活躍推進計画」を包含)

- 3 誰もが地域で安心して暮らすために

## 基本方針

- 1 男女共同参画に関する啓発・情報提供の充実

- 2 男女平等意識を高める教育の推進

- 3 多様な性の在り方の理解促進

- 1 政策・意思決定の場における女性登用の推進

- 2 女性が働きやすい環境の整備

- 3 ワーク・ライフ・バランスの促進

- 1 DVを防止する啓発教育の推進  
 (関市DV対策基本計画)

- 2 DV被害者に対する支援体制の推進  
 (関市DV対策基本計画)

- 3 地域における男女共同参画の推進

## 5 事業の目標、数値目標による進捗管理

本プランでは、各基本方針に数値目標を設定しています。これらの数値目標の達成に向けて、各課は男女共同参画に関わる事業を推進することとします。事業の推進にあたっては、数値化が可能なものは活動指標を設定します。

また、国や岐阜県の計画等で設定されている目標は以下の通りとなっています。本プランの数値目標については、国や県の目標設定を参考にして設定しています。

### <国の目標>（「第4次男女共同参画基本計画」より）

目標	現状	目標年	数値目標
あらゆる分野の指導的地位における女性の占める割合	—	2020年	30.0%

### <県の目標>（「岐阜県男女共同参画計画（第4次）」より）

目標	現状	目標年	数値目標
①社会全体として男女の地位が「平等である」と考える県民の割合	(2017年) 15.7%	2022年度	50.0%
②県の審議会等における女性委員の参画率	(2018年4月1日) 40.2%	2023年度	40.0~60.0%

### <関市の目標>

目標	現状	2022年度	2028年度
①社会全体として男女の地位が「平等である」と考える市民の割合 (2018年度のまちづくり通信簿の実績値)	(2018年度) 18.6%	25.0%	50.0%
②審議会等への女性の登用率	(2018年6月1日) 24.2%	30.0%	40.0%

